

紀の国わかやま国体 開会宣言

和歌山県知事 仁 坂 吉 伸

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ和歌山県において、東日本大震災復興支援 第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」を、このように盛大に開催できますことは、この上ない喜びであります。

全国各地からご参集された選手や役員の皆様を、大会を待ち望んでいた全ての県民とともに、心より歓迎申し上げます。

「紀の国わかやま国体」は、「躍動と歓喜、そして絆」をスローガンに、参加された全ての人の心に残る大会を目指して、県民総参加で、長年にわたり準備に取り組んでまいりました。

その間、平成23年には、東北地方を中心とする東日本大震災が起こり、多くの方々が尊い命を失い、苦しみました。また、その半年後、この和歌山県を含む紀伊半島は、大水害に見舞われ、多くの犠牲を払いました。その後も広島、茨城など、多くの地域で災害が起きています。しかしながら、我々は、全国の多くの方々のご支援をいただき、この困難から立ち上がり、こうして元気に皆様をお迎えすることができました。また、東北の被災地からも多くの選手の方々がこの国体に参加してくださっています。東日本大震災からの復興がさらに進むよう、本大会は、「とどけよう スポーツの力を東北へ」を合言葉に、その復興を支援する大会として実施いたします。

全国からご参集された選手の皆様には、郷土の代表としての誇りを胸に、思う存分躍動され、スポーツの歓喜を味わい、そして競技を通じて、友情の絆を育んでいただきたいと思います。本大会が選手の皆様にとって、素晴らしい思い出として、いつまでも記憶に残る大会となるようお祈り申し上げます。

その思いを胸に、ここに、東日本大震災復興支援 第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」の開会を宣言いたします。